



第3回核融合エネルギー連合講演会 —21世紀が求めるエネルギー—

一般講演（ポスター発表）募集

核融合研究開発はここ数年、世界的に大きく進展しつつあり、次のステップに進むべき科学的、技術的基盤が整いつつあります。その中でエネルギー研究開発としての核融合への取り組みがますます重要になっています。このような認識のもと、(社)日本原子力学会と(社)プラズマ・核融合学会の主催により、第3回核融合エネルギー連合講演会を、関連学会の共催を得て、下記の要領で開催いたします。

核融合エネルギー連合講演会では、炉心プラズマ、核融合工学をはじめとする多くの関連分野の総合的な理解を深めるとともに、若手研究者の将来に向けた研究協力を促進する場となるよう、プログラムや企画を工夫しております。第1回（1995年12月）と第2回（1998年6月）に引き続き、活気ある講演会となりますよう、皆様方のご参加とご協力をお願い申し上げます。今回の講演会においては、「21世紀が求めるエネルギー」を副題として掲げ、エネルギー発生装置としての核融合について、その要件、現状、今後の課題およびその解決方策を議論することを目的としています。

前回と同様に会場にて、ITER 工学 R&D 機器、日本原子力研究所や大学での研究活動を示す模型やパネルを展示し、一般公開する予定です。また、講演会の翌日6月14日にはLHDを中心とした見学会を企画しております。

講演会は、招待講演・特別講演・シンポジウム・パネル討論・一般講演（ポスター発表）により構成されております。一般講演を以下の要領で募集いたしますので、一般講演希望の方は、下記の期日までにお申し込み願います。なお、若手（35歳程度以下）の一般講演者を対象とした優秀発表賞が設けられていますので、該当者は申し込みの際に併記ください。

1. 会場

中部大学
〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200
Tel 0568-51-1111 Fax 0568-51-1141

2. 会期

2000年6月12日(月)～13日(火)

3. 一般講演申込期限

2000年2月10日(木) (必着)
発表の可否は2月末までにお知らせします。

4. 講演予稿原稿提出期限

2000年3月31日(金) (必着)

5. ポストデッドライン講演

講演会の初日6月12日10時から12時まで、会場事務局にて受け付けます。申し込みの際に、講演申込書1部および予稿350部を提出してください。当日事務局からお知らせします講演番号を、350部すべてに各自ご記入ください。

6. 一般講演者の資格

主催学会(日本原子力学会, プラズマ・核融合学会), 共催学協会(エネルギー・資源学会, 応用物理学会, 高温学会, 低温工学協会, 電気学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本真空協会, 日本鉄鋼協会, 日本物理学会, 日本放射線影響学会, 腐食防食協会, 溶接学会, レーザー学会)の会員

7. 一般講演の制限

講演の代表者として1人1回に限ります。

8. 一般講演の形式

ポスター発表に限ります。なお、ビデオ使用を希望する方は、講演申し込み時に記入ください。ポスターの掲示板は横幅180cm×高さ135cmです。

9. 講演募集分野

連合講演会の趣旨に沿ったもので、以下に記す分野において最近行われた研究や研究室の研究紹介、トピックのミニレビューなど、学術的に価値のある

ものに限ります。

一般講演募集分野：1) 核融合工学, 2) 材料,
3) 炉システム・設計, 4) 加熱・電流駆動, 5) 炉
心プラズマ, 6) 慣性核融合, 7) 理論・シミュレー
ション, 8) 計測, 9) トリチウム, 10) プラズマ基
礎・応用, 11) その他。

10. 一般講演申込方法

下記の項目を記入して、次のアドレスへ送信（電
子メールを利用できない場合は郵送）してください。
最後に示す Web サイトに申し込みフォームがあり
ますので、できるだけそちらをご利用ください。

E-mail: fusion-energy3@nr.titech.ac.jp

東工大原子炉工学研究所 飯尾俊二 気付
第3回核融合連合講演会プログラム委員会宛
〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1
Tel 03-5734-3377 Fax 03-5734-2959

- 1) 講演分野番号
- 2) 講演題目
- 3) 講演者の所属と氏名

所属は略称をお使いください。連名の場合、発
表者の前に○印をつけ、連名者の所属が異なる
場合は、2番目以降の所属と氏名の右側に1),
2), 3) をつけて区別してください。

- 4) 代表者の連絡先
電子メールアドレス、電話番号、ファックス番
号を必ず記入ください。
- 5) 発表内容の要旨（200字以内）
要旨が明確でないものは再考をお願いしたり、
あるいは受理しない場合がありますので、ご了
承ください。
- 6) ビデオ使用希望の有無
- 7) 発表者が若手（35歳程度以下）に該当する場
合は、それを記入ください。

11. 講演予稿原稿の書き方

講演予稿原稿を下記の要領で作成の上、上記宛先
まで郵送ください。講演予稿集はオフセット印刷に
なりますので、鮮明な仕上がりのものをご用意くだ
さい。提出いただいた原稿は A4版のまま印刷に回
されます。

- ・ A4用紙 1 頁に上下左右各 3 cm の余白を置いて、
ワープロや黒インクを用いて書く。
- ・ 表題は 1 行目から中央揃えにして書く。なお原稿
の表題は、申込書の講演題目と同じでなければな
らない。和文題目（18ポイント）の下に、英文題

目（14ポイント）を必ず加える。

- ・ 表題との間に 1 行の空行を入れて、所属および氏
名の順で書く。
- ・ 本文と氏名（10～12ポイント）の間は、少なくと
も 1 行の空行を置く。
- ・ 本文には、おおよそ研究の目的、方法、結果、結
論を記載する。
- ・ 図および表は、用紙に直接、あるいは青色方眼紙
に黒インクで書いて用紙に貼り付ける。写真は、
用紙に直接貼り付ける。
- ・ 原稿用紙の右肩に、鉛筆で講演番号（プログラム
委員会から電子メール等で通知するもの）を記入
する。
- ・ 日本語で書かれた著者名（全員）の下には、ロー
マ字で姓（全部大文字）、名（頭文字以外小文字）
の順に書き加える。ただし、所属機関名は日本語
だけで書く。

記入例：東大工，東工大原子炉研¹⁾

本郷太郎，大岡次郎¹⁾

HONGO Tarou, O-OKA Jirou

- ・ 著者の代表者のメールアドレスを下部の脚注もし
くは文末に記す。
- ・ 原稿はしわにならないよう厚紙等に挟んで送付し
てください。

12. 参加費

会場受付にて、参加費（予稿集代および懇親会費
を含む）を徴収いたします。主催学会および共催学
協会の会員9,000円、および学生会員4,000円です。
ただし、非会員10,500円、および学生非会員5,250
円となっております。

6月12日夕刻、中部大学にて懇親会を予定してお
りますので、お誘い合わせの上、ご参加くださいま
すようお願い申し上げます。

なお、本連合講演会の詳細は、Web ページを参照く
ださい。Web では、一般講演申込の入力フォームと予
稿原稿例（WORD 用のファイル、テンプレート、PDF
ファイル）を用意しています。

<http://genius.nucl.nagoya-u.ac.jp/aeajfnt/index.html>
または

<http://www.nifs.ac.jp/jspf/>